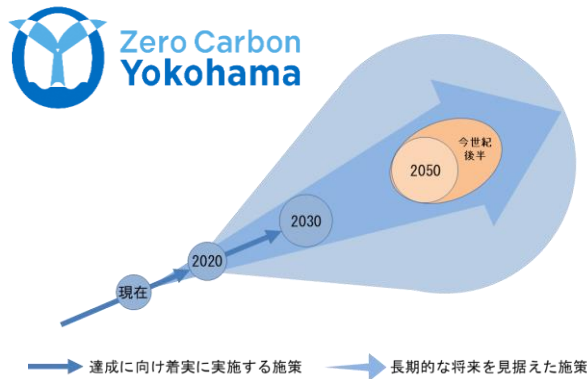


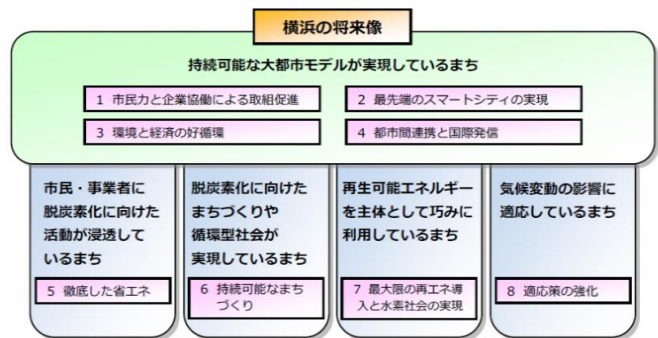
○提案内容

(1)実現したい都市のビジョン

- ・2018年6月に「SDGs未来都市」に選定され、環境を軸に、経済や文化・芸術による新たな価値・賑わいを創出し続ける都市の実現に挑戦。
- ・パリ協定・SDGs採択後の世界の潮流や気候変動の影響等を踏まえ、温暖化対策・エネルギー施策の更なる強化を図るため、横浜市地球温暖化対策実行計画を2018年10月に改定。目指す姿(ゴール)：「Zero Carbon Yokohama」
- ・公民連携組織である横浜スマートビジネス協議会(YSBA)による、Society5.0を踏まえた最先端のスマートシティの実現。



本市の目指す姿(ゴール)：Zero Carbon Yokohama



(2)新技術の導入により解決したい都市の課題

※課題については、別紙3の(ア)～(シ)の課題分野への対応を記載ください(複数ある場合は、課題ごとに対応を記載ください)

解決する課題のイメージ	課題の分類
<p>【(ア)交通・モビリティ】 2019年のラグビーワールドカップ、2020年のオリパラの開催に向け、鉄道における省エネの取組やバス/レンタカーのEV/FCV化などの交通網の低炭素化を図る必要がある。 また、今後、民間開発プロジェクトが複数想定されるエリアでは、エリア全体の発生集中交通量が変化するため、最適な地域交通サービスの提供が課題となっている。当該エリアでは多彩な交通サービスの提供に向けて、民間からの提案に基づき事業化に向けた検討を進めているところであり、AIやIoTを活用した現状の交通実態を把握するとともに、効果的な交通サービス(ネットワークやサービス水準など)を決定していく必要がある。</p> <p>【(イ)エネルギー】 「Zero Carbon Yokohama」の実現に向け、次世代技術による『省エネ』と、再生可能エネルギーの導入や他自治体との広域連携などによる『創エネ』を組み合わせることが必要不可欠となっている。 RE100を宣言している企業と連携し、「Zero Carbon Yokohama」の達成を狙っていく。 熱供給事業者による熱供給事業を実施しているエリアでは、地区の開発を進めると同時にエネルギー使用の削減、最適化を進めていく必要があり、大規模蓄熱槽などの導入によるエネルギー使用の最適化を図ることが想定される。</p> <p>【(ウ)防災】【(オ)観光・地域活性化】 横浜市は様々な観光施設を有する他、2019年のラグビーワールドカップ、2020年のオリパラなどの開催を踏まえ、観光客の満足度向上に加え、各施設のBCPや震災、豪雨による浸水などの災害時の対応を考慮した取組を進める必要がある。</p> <p>【(エ)インフラ維持管理】【(キ)生産性向上】 横浜市においては、複数の上下水施設やごみ処理工場を有しており、これらインフラの維持管理にあたり人材の育成が求められている。</p>	<p>(ア)交通・モビリティ</p> <p>(イ)エネルギー</p> <p>(ウ)防災</p> <p>(エ)インフラ維持管理</p> <p>(オ)観光・地域活性化</p> <p>(キ)生産性向上</p>

(3) 具体的に導入したい技術(既に想定しているものがある場合)

【(ア)交通・モビリティ】

- ・EV、FCV
- ・急速/普通充電器
- ・鉄道の回生電力(駅舎との連携)
- ・AIカメラ及び人流の解析システム
- ・都市型浸水リスクの予測・管理システム

【(イ)エネルギー】

- ・ハイブリッド給湯器
- ・ナッジによる都心部における省エネ行動推進
- ・大規模蓄熱槽及びAIによる運用システム

【(ウ)防災】【(オ)観光・地域活性化】

- ・モバイルバッテリーレンタル設備
- ・蓄電池設置(VPP事業)

【(エ)インフラ維持管理】【(キ)生産性向上】

- ・VRを活用したMixed Realityサービス

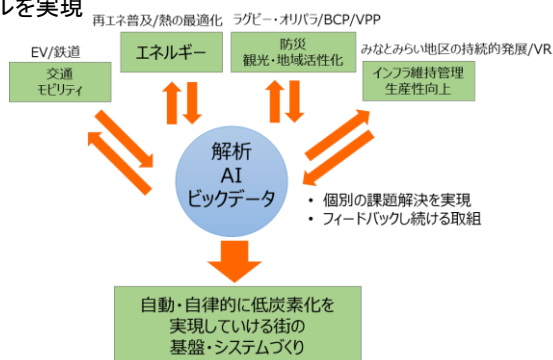
(4) 解決の方向性(イメージでも可)

(ア)～(キ)等の様々なデータをAIを用いて収集・解析しフィードバックし続けていける、自動・自律的な街づくりの基盤・システムづくりを実施する。成長サイクルを実現

初期: 課題別にデータの収集・解析を持続していける仕組みづくり

↓
中期: 様々なデータを複合的に活用し課題解決の実現

↓
後期: 自動・自律的な街づくりの基盤・システム形成の確立



(5) その他

実施中のプロジェクト

- ・みなとみらい2050プロジェクト
- ・超小型モビリティを活用した実証実験「チョイモビ ヨコハマ」

○部局名・担当者・連絡先(電話及びメール)

部局名	担当者	連絡先(電話)	連絡先(メール)
都市整備局企画課	松井 恵太	045-671-2005	tb-kikaku@city.yokohama.jp